

古文書を読む会学習記録

作成日 平成30年2月24日

開催日	平成30年2月22日	時間	10:00~12:00
場所	金沢公会堂リハーサル室	出席人数	12名
講師	真田 雅行氏	作成者	内田 孝知
テーマ	第二学習 艱難実録(箱館戦争)⑥ テキスト: 艱難実録 上		
概要	<p>一. 川田剛、松山、京、大阪にて情報収集、江戸に戻り、小子面談、君公状況不明、君公仕置きの際は社稷(藩)存続が肝要、万之進様家督相続各位了承。剛も同道し、小子便船次第会津へ出向き、お目通りの上、趣委細言上、会津勢いの有る内に社稷相立てる様運べば見込みは有</p> <p>一. 剛面会后、数日して吉田謙藏罷り越し面談、松山にても君公会津に入られ候事承知、但し君公会津脱出は難しい為、社稷(相続)相立てる事急務、万之進様連れ出すべきだが、剛とも相談するが極めて難しい。剛と小子共々会津へ出向き、様子見して万之進様の事取り計らう事とした。龍之介、蔵太も同意</p> <p>一. 謙藏、小子便船周旋、長鯨丸出帆と聞くが決まっておらず、謙藏折衝のため艦将柴方へ出向く。会津藩備船のフロイ船(プロシア船の事か)近日品川沖へ着予定、折衝結果7月29日頃着予定。金子都合致すべし、フロイ船着後謙藏、羽瀬彦太郎乗込、後は明日中乗込。彦太郎は小笠原老州公家来と陸路着。小子は旧幕人雇いの異船に乗込もうとしたが何時になるか不明のため、フロイ船に乗込む</p> <p>金策困難、漸く龍之介尽力で、銘々の船賃プラス300両工面。会津への見継金など細々取決め、小子出立後龍之介へ相任すの一札差遣し、国産方掛りも尽力するの一札受取</p> <p>一. 7月28日亀戸辺より小子・蔵太・吉之助同船にて品川沖へ、長鯨丸へ乗込、同行の者追々乗込 計10名、彦太郎は後よりとの事であったが終に参らず。</p> <p>一. フロイ船延着し、8月15日品川着、17日出帆、18日鹿島灘にて大風に会うが、凌ぎ、漸く19日奥州寒風沢沖江着船、小舟雇い塩釜へ上陸、餅屋と言う旅籠へ一泊。寒風沢へ着船のおり、御幕人面会有り、君公は現在、仙台北下に居られる由承る</p> <p>一. 長鯨丸乗組の折、仙台藩佐藤氏に会い、仙台領通行、旅宿の便宜を依頼、翌日差支えないとの連絡受く</p> <p>一. 翌20日塩釜出立、仙台北下君公旅宿庄司屋方へ着、拜謁。小子他3人、旧幕人3人、会津藩1人 計8人</p> <p>一. 当所に居られる御趣意伺う処、甲鉄船未だ品川沖に在り、この艦にて連合周旋して取集めた6万両、続いて集まる金子を、会津藩へ..... (次回へ続く)</p>		
備考	資料: ①日本史総合図録/新政府の成立 ②御用船「長鯨丸」(平山氏メモ)		
次回予定	平成30年3月8日 10:00~12:00 於: 金沢公会堂リハーサル室 第一学習 野島浦鈴木家文書 ④		